

第19回 自己組織化マップ研究会2018の論文の書き方

How to submit the papers of 18th Annual Meeting of Self-Organizing Maps in JAPAN 2018

○梨本 太郎 鳥取大学 大学院工学研究科/情報エレクトロニクス専攻
(TaroNashimoto@xxx.tottori-u.ac.jp)

Nashimoto Taro, Tottori University,

湖山 めだか 自己組織化マップ研究所 (MedakaKoyama@xxx.tottori-u.ac.jp)
Koyama Medaka, Self-Organizing Maps Research Center

2018年3月21日 (March 21st, 2018)

Abstract

This is an example of the paper of 19th Annual Meeting of Self-Organizing Maps in JAPAN 2018. Please refer to the items listed below, and prepare the paper you want to submit. Thank you very much for your cooperation in advance.

1 はじめに

この文書は自己組織化マップ研究会用の投稿論文の書式のガイドラインを示したものである。この書式に完全に一致していなくても下記の事項を守ったものであれば、それで構いません。2009年までは古い日本語 \LaTeX Ver2.9x, 一般にはアスキー版日本語 \LaTeX 用に作成してきました。2010年からはWindowsパソコンで使える日本語 \LaTeX [1, 2, 3, 4], 一般には $\text{p}\LaTeX$ 2.09用に作り直しました。2015年からはTeXWorks (Windows版)での作成環境で作成しています。2017年はTeX Live (Windows版)での環境で作成しています。この文書サンプルは本研究会の論文作成の手間を削減するためにご活用していただければ幸いです。なお、旧版をご希望の方は第10回自己組織化マップ研究会のホームページから旧版の書式をダウンロードしてください。サンプルのPDFといくつか違う点がありますが、このサンプルを使うことで95パーセントぐらい似た書式となるとと思いますので活用していただければと思います。

2 論文の作成要領

論文の作成時には下記の事項に注意してください。

1. A4用紙(縦297mm 横210mm)を使用
2. 用紙の左右上下の余白は20mm程度空ける
3. 最大6ページ
4. 本文は10ポイント以上のフォントを使用
5. 段組みは自由(ただし、読みやすいように配慮してください)
6. 講演題目(日本語, 英語の順に), 著者(講演者は左側に○をつける), 所属, オプションで連絡先(電子メール)を第1ページの先頭に記述する。必ず英文を併記してください。日付は準備したスタイルファイルの都合で入っていますが、無くても構いません。日付を入れる場合は2018年3月21日をお願いします。
7. ポストスクリプト形式またはPDF形式のファイルを作成し論文集担当者用メールアドレス宛: som2015submit@gmail.com に添付メールとして送付してください。ただしファイルの大きさが概ね1.4MB以上になる場合にはデータクラウドサービスなどを用いてダウンロードできるようにしてください。締め切り日は研究会開催日の約10日前です。論文集およびCD-R版の作製に支障をきたしますので必ずこの期限までに論文を送っていただくようお願いします。また紙のメディアでの論文投稿は一切お受けできません。

論文提出期限は 2018年 ~~3月2日(金)~~ までに必着とします。

3月9日(金)

電子メールでの送付先: som2015submit@gmail.com
郵送の場合の送付先: 2015年度から廃止。

3 図, 表, 式について

図, 表, 式には出てきた順にすべて通し番号を付けてください。また、図の中の数字などの文字の大きさに

も注意を払ってください。いずれも鮮明で読めれば結構です。

図1はある実験データ2系統をX-Yプロットしたものの。

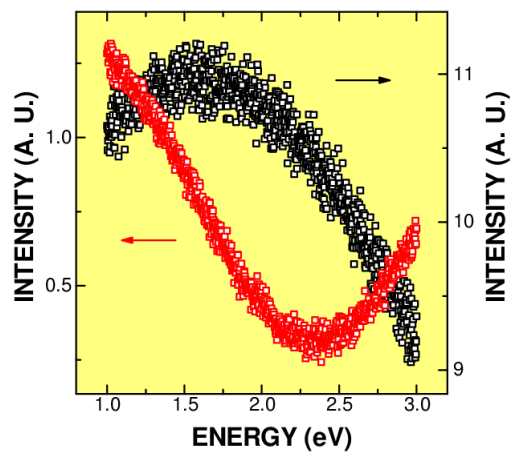


図 1: 図の例 ; あるグラフ.

Windows 用のあるグラフ作成ソフトウェアを使い、EPS 形式に出力したものです。また、図2はある自己組織化マップを示しています。これは、ある Windows 用の自己組織化マップ作成ツールの画面イメージをキャプチャし、画像処理ソフトウェアにより EPS 形式に変換したものです。

L^AT_EX に取り込む際は旧版の場合は

```
\epsfile{file=./sample-fig1.eps,width=75mm}
```

を使用していました。今回の版では

```
\includegraphics[keepaspectratio, scale=0.36]{./sample-fig1.eps}
```

に変更しています。また L^AT_EX のドキュメントクラスに続いて”graphicx”のパッケージを取り込んでいます。

```
\documentclass[a4j,twocolumn]{jarticle}
\usepackage{graphicx}
```

4 論文集と CD-R と電子メディア

研究会用の論文は論文集として 1 冊の冊子としてクルミ製本などが可能な電子メディアに編集されます。2010 年まではカラープリンタにて両面印刷したものをクルミ製本して販売しておりましたが、2011 年からは編集のみをおこないます。論文が掲載された CD-R もしくは USB メモリを作成しますので、投稿は電子

メディアのみの受付となります。この点、ご理解の上投稿をよろしくお願ひします。

電子メディアとして PDF 形式をご利用の場合、特殊なフォントをご使用の場合には必ずそれらのフォントを埋め込んで下さい。埋め込みされていない場合、一部のフォントが文字化けすることが考えられます。また、用紙の指定に A4 以外（特に Letter）をご指定の場合、印刷されない領域が発生するので、必ず A4 であることを確認の上、PDF ファイルを作成してください。

組版の都合上、奇数ページの論文には 1 ページの空白が最後のページに挿入され偶数ページに調整されます。これを避けるには偶数ページになるように論文を仕上げて下さい。

利用予定の Acrobat は「Windows 版 Ver. 7.0」以降です。

5 スタイルファイルに関して

スタイルファイルですが、Windows 版の日本語 pL^AT_EX Ver2.09 用です。このスタイルファイルには図の取り込みのためのパッケージとして graphicx が必要です。また漢字コードが SJIS (シフト JIS)、改行が CR+LF のみですので、ご面倒ですが準備したファイルがご使用のエディタで読めない場合にはご使用の環境の漢字コードに変換してください。

これ以外の環境のスタイルファイルは主催者が L^AT_EX 以外は不慣れなために今年度も準備していません。MS-WORD とかのワープロのスタイルファイルのご提供をしていただければありがたいと思います。提供可能な方は下記の問い合わせ先に連絡していただければありがたいです。提供していただいたスタイルファイル等は動作の確認をしたのちに作者の名前入りでホームページに掲載させていただきます。おそらくこの研究会活動が続く限り、名前が残る名誉が得られますので、志高き研究者が出てくるのを楽しみにしています。

図 3 にこの文章作成途中のモニター画面のキャプチャーを示す。

このパソコンには Windows 版の日本語 pL^AT_EX をインストールしてある。OS は”Windows 7”, 統合環境として ”TeXworks”を利用している。

6 連絡先

このソースファイルに関して何か不具合等がありましたら、下記に連絡していただくようお願い申し上げます。

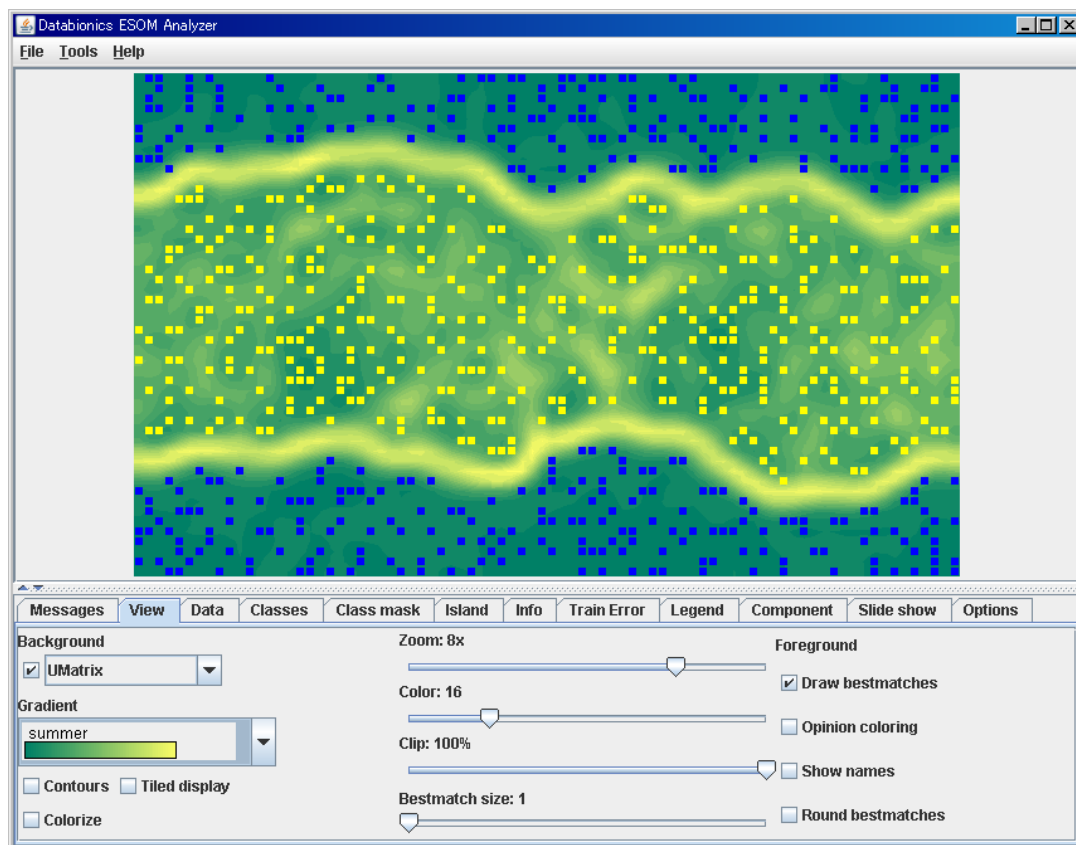


図 2: 図の例；ある自己組織化マップの例（カラー）。

す。

〒 680-8552

鳥取県鳥取市 湖山町南 4 丁目 101 番地

鳥取大学 大学院工学研究科 情報エレクトロニクス専攻

藤村 喜久郎（ふじむら きくお）

TEL (0857)31-5243

FAX (0857)31-0880

E-mail fujimura@ele.tottori-u.ac.jp

WWW <http://app6.ele.tottori-u.ac.jp/SOM-Meeting/2017>

参考文献

- [1] 野寺隆志, “楽々 L^AT_EX,” 共立出版, 東京, 1990.
- [2] 野寺隆志, “楽々 L^AT_EX 第 2 版,” 共立出版, 東京, 1994.
- [3] レスリー・ランポート, “文書処理システム L^AT_EX,” アスキー出版局, 東京, 1990.
- [4] H. Kopka and P.W. Daly, “A Guide to L^AT_EX,” Addison-Wesley, Wokingham, 1993.

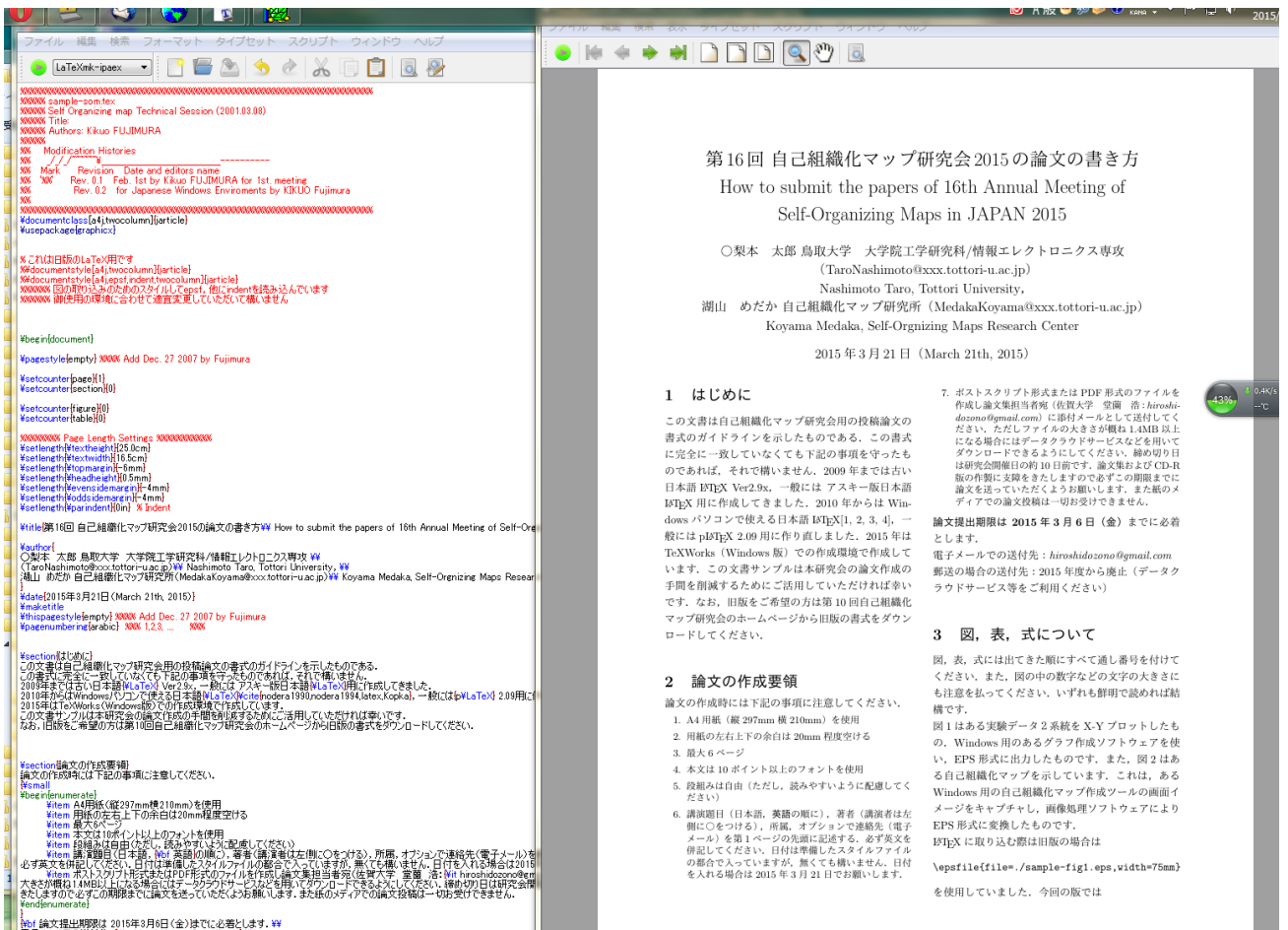


図 3: 図の例 ; 本文章作成中のモニター画面 (キャプチャー画像) .